

【修了式あいさつ】

世界に目を向けて

校 長 渡 邊 政 徳

今世界では戦争が起きています。ロシアが隣国ウクライナに軍事侵攻し、建物や施設を破壊し、多くの死傷者を出すとともに、3百万人を超える難民が国外に逃れています。おそらく皆さんもニュースなどでこの惨事を目にしていると思います。今この21世紀に、他国を侵略し、力で相手を従わせようとするというのが事実にあるという事に愕然するばかりです。

目を覆いたくなるような出来事が起こっているのは事実ですが、世界に目を向けることを大事にしてもらいたいと思います。今世界のどこかで起こっている出来事は、私たちの生活に影響を与えます。グローバル化の進む世界では、一つの国の経済危機が多くの国の株価下落を引き起こしたりします。地球温暖化の問題も他国と協調して取り組まなければ解決には至りません。国際紛争の解決においても他国との協力が必要であり、問題を見過ごさず、よく知ることが大切です。

侵略行為は決して許してはなりません。しかし、物事の見方は立場によって変わります。その行為を非難しながらも、その背景や歴史などを知るべきでしょう。そして、見方を変えて、自国のあり方についても考えることができます。例えば、ロシアのウクライナ侵攻を見るとき、太平洋戦争での東京大空襲や広島・長崎への原爆投下がどのようなものであったかを想像するとともに、大東亜共栄圏という美名のもとに他国を侵略した日本の行為や、それによって傷ついた人々についても考えてみるべきです。

この侵攻が続く中で、日本ではロシアの食品などを販売する店舗の看板が壊されたり、日本在住のロシア人が中傷されたりすることがありました。ロシアの行為を憎むとしても、国家と個人を同一視してはならないと思います。多くのロシア人が戦争に反対しています。先日ロシア第1チャンネルのプロデューサー、オフシャンニコワさんがニュースの放送中にキャスターの後方で戦争反対を訴えるポスターを持って立った出来事が報道されました。命がけの行動だったと思います。勇気ある人や良識ある人の存在を忘れてはなりません。

皆さんには、外国人の中に名前呼び合える友人や知り合いがいますか。そのような人との交流は世界を知り、考えを広げる機会となります。今年度本校ではオンラインでタイの姉妹校の生徒と交流を行いました。参加した人は、お互いに今関心をもっていることについてプレゼン資料を作って紹介し合いました。交流は大変盛り上がり、皆満足そうでしたね。感想を聞くと、国や文化も違うけれどもお互いに同じようなものをもっていることを感じたと言う人がいました。とても大事なことに気づいたと思います。おそらく、このような交流を経験した人は、他国の人々への共感をもち、紛争なども回避しようと努力できるのではないかと思います。

世界には多様な国や文化、人々が存在します。だからこそ魅力に満ちています。しかし、だからこそ考えが異なることもあります。その中でコミュニケーションを図り、調和を見出してゆく必要があります。世界に目を向け、かつ自らを見つめ、これからの自分や世界の在り方を考えてもらいたいと思います。